

令和4年 3月 10日

令和3年度 社内監査（事業者自己評価）

一般社団法人 あまね

○就業中の職員で評価を行いました。

- 1, よくできている。
- 2, まだ改善の余地があり満足できていない。
- 3, 改善の必要がある。
- 4, わからない

以上の4段階で評価しました。多数の職員が2・3と評価した項目については、改めて改善に向けての対策を検討しました。

4と評価した項目については職員への実施状況を周知いたしました。

担当 一般社団法人あまね 堤 恵子

		評価者					職員からの意見					
		管理者	野田	大賀	原田	藤川(明)						
		チェック項目										
体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係上適切であるか	2	1	2	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・訓練室は3つあるが人員や療育のしやすさなどを考え、2つのフロアで活動しているため、狭くなっている。 ・長期休み等に入ると朝から沢山の利用者さんが来るので、その際はなかなか適切なスペースを取ることが難しい。
	2	職員の配置数は適切であるか	1	1	1	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・加配している
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	1	1	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・なされているが、使いづらい場所もある
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参加しているか	3	1	1	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・やりっぱなしで振り返りができていない職員もいる
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	2	1	1	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートは実施できているが、結果をすべて把握して改善に繋がっているかは疑問がある
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	1	1	1	1	1					
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	2	4	1	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・外部評価は実施できているが、業務改善する余地はまだある
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	2	1	1	1	1					<ul style="list-style-type: none"> ・最低限の研修は行えているが、資質向上のための研修を行う時間が持てていない

	評価者	管理者	野田	大賀	原田	藤川 (明)						職員からの意見	
													チェック項目
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上通所支援計画を作成しているか。	2	1	1	1	1						・個別性を重視した計画が必要
	10	利用者の適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	3	1	1	1	1						・標準化されたアセスメントツールを使用できていない
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	2	1	1	1	1						・行っているが、職員全体に周知は出来ていない
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	1	1	1	1	1						・担当を定期的に変更するなどしている
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	3	1	1	1	1						・利用時間に応じた課題設定はできていない
	14	利用者の状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる通所支援計画を作成しているか	1	4	1	1	1						
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	1	1	1	1						・なかなかできていない
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	1	2	1	1						・退勤時間がバラバラであるため、全体ラインを使用し情報共有を行っている

	評価者	管理者	野田	大賀	原田	藤川 (明)						職員からの意見	
													チェック項目
適切な支援の提供	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	2	1	1	1	1						・支援内容を理解した上での記録がなされていない
	18	定期的にモニタリングを行い、支援計画の見直しの必要性を判断しているか	1	1	1	1	1						・できている
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援行っているか	4	4	2	1	1						
	20	相談支援事業所のサービス担当者会議にその利用者の状況に精通した最もふさわしい者が参加しているか	1	1	1	1	1						
	21	学校との情報共有(年間計画)・行事予定等の交換、子供の下校時刻の確認等)連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	1	1	4	1	1						・生活介護の為、学校には通っていない
	22	医療的ケアが必要な利用者を受け入れる場合は、利用者の主治医等と連絡体制を整えている	1	1	1	1	1						
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3	4	1	4	1						・入学と共に放デイを契約される方のもとと通っていた児童事業所との情報共有はできていない
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	2	4	1	4	1						・しているときとしていないときがある

		評価者	管理者	野田	大賀	原田	藤川 (明)						職員からの意見
		チェック項目											
適切な支援の提供	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	2	1	1	4	1						・コロナにより研修の機会が減っている
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子供と活動する機会があるか	2	2	4	4	1						・以前はしていたがコロナにより行えていない ・コロナの影響でおこなっていない
	27	(地域自立支援) 協議会等へ積極的に参加しているか	1	4	4	4	1						
	28	日頃から利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の発達の状況や課題について共通理解を持っているか	1	1	1	1	1						
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	3	4	4	4	1						・専門知識を持つての支援はおこなえていない
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	1	1	1	1	1						
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ必要な助言と支援を行っているか	1	1	1	1	1						
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	2	4	1	4	1						・緯線は行っていたが、コロナにより機会が減っている ・保護者会は行っているが、コロナの影響でZOOMで開催している

		評価者	管理者	野田	大賀	原田	藤川 (明)					職員からの意見
		チェック項目										
適切な支援の提供	33	利用者や保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、利用者や保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	2	1	1	1	1					・対応マニュアルは整備しているが、それに沿った行動ができていない時がある
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を利用者や保護者に対して発信しているか	1	1	1	4	1					
	35	個人情報に十分注意しているか	1	1	1	1	1					
	36	利用者や保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	1	1	1	1	1					
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	3	4	4	4	1					・開かれた運営をしたいと計画はしているが、コロナにより実行できていない ・コロナの影響でおこなえていない
	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	2	1	1	1	1					・策定はしているが、周知はできていない
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	1	1	1	1	1					
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	1	1	1	1	1					

